

第5次朝霞市総合計画後期基本計画の策定に向けた

## 分野別市民懇談会

開催報告



令和3年度からの5年間を計画期間とする第5次朝霞市総合計画後期基本計画を策定するに当たり、市民の皆さんの意見を幅広く伺い、計画内容に反映していくため、分野別市民懇談会を開催しました。

回数・分野	開催日時	テーマ	参加者
第1回 都市建設	令和元年9月28日(土) 午前10時～11時30分	未来を拓く <sup>ひら</sup> まちづくり ～次世代につながるインフラ整備～	24人
第2回 教育	9月28日(土) 午後1時30分～3時	生きる力を育む朝霞の教育 ～学校教育と生涯学習～	8人
第3回 総務	10月5日(土) 午前10時～11時30分	「私が暮らした <sup>ひら</sup> げたいまち朝霞」の実現を目指して ～行財政・防災～	18人
第4回 市民環境	10月5日(土) 午後1時30分～3時	住みよい環境づくり ～生活環境・産業振興・コミュニティ～	16人
第5回 健康福祉	10月6日(日) 午前10時～11時30分	こどもから高齢者まで 暮らした <sup>ひら</sup> げたいまち朝霞 ～朝霞の健康・福祉～	21人

※次ページ以降に掲載している意見等は、一部を除き、原文のまま記載しています。

分野別市民懇談会で出された意見

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	1	都市計画・交通	道路整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道、自転車道、自動車道が区分された狭的な交通網</li> <li>・ 高齢者の憩えるまち（→道路整備など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の拡張整備、歩車道の分離、道路の段差をなくす</li> <li>・ 道路を一方通行にして、歩道を広くする</li> <li>・ 路面表示でなく、交差点に絵を描くことにより、交通安全の向上（例、30キロ規制や「スピード落とせ」などを絵で表現する）</li> </ul>
			住宅環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅、就業の場、商業、にぎわい施設がバランス良く配置されている</li> <li>・ 2駅を中心とした商業施設周辺の低層住宅、その周辺に工業地域がまとまっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅密集地での住宅区画整備</li> <li>・ ゆるやかな地区計画などで、戸建て住宅地の住環境を改善</li> <li>・ 空き家、空き地の公共的な活用（例、公園としての利用）</li> </ul>
			まちの魅力づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者に魅力のあるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型児童施設、青少年教育施設、大型運動イベント施設などの設置</li> <li>・ 2駅を中心とした大型商業施設</li> <li>・ 商業施設の適度なリニューアル</li> <li>・ 広域的に集客できる施設を建てる</li> </ul>
			魅力を活かした景観		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電線、電柱のないすっきりした安全な街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設道路から地中化を進める（駅前通りをモデルケースに）</li> <li>・ 電力会社との協議の場を各自治体と一緒に設けていく</li> </ul>
			みどりの活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒目川などの自然環境を生かしたまち</li> <li>・ 緑と住居のバランスの取れた環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みどりを活かしたイベントを開催する</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	2	道路	企業誘致に伴った道路整備			・企業誘致を考慮した道路整備
			歩道整備、バリアフリー化		・歩道の整備、安心安全に歩ける道 ・ママチャリ、子ども達等が安心安全に歩ける街	・歩道と車道の段差解消
			街路樹の多い街		・街路樹の多い涼しい街	・木々（緑）が多い道づくり
			坂道の一方通行化			・坂道が多く、歩行者や自転車での通行者が危険であるため、自動車のみ一方通行化し、歩行者、自転車のためのスペースを確保する。
			注意喚起看板の設置			・道路の注意表示（横断者注意等）の設置
			歩道や遊歩道のある朝霞市を代表する道路		・歩道で老人と子どもが自由に動き回れる。 ・遊歩道が整備できる。 ・市を代表する道路ができる。	
			新しい交通網の発達により、道路は狭くなっている	・交通手段、移動手段が自動車ではなくなるため、現在の道路の広さはいらない。むしろ道路は狭くなっている。		
			現状と変わらない			

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	3	公園	みどり豊かで、広々とした子どもから高齢者まで憩える広場・公園		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と子供達が一緒に遊んでいる。</li> <li>・公園の差別化、特色化。セントラルパークのような身近な三世代が使える公園。</li> <li>・緑いっぱい、木洩れ日のある公園。</li> <li>・ベンチの高さ等、各年齢層が使える公園。</li> <li>・いろいろな行事をすることが出来る楽しみいっぱいの公園。</li> <li>・将来、市民が基地跡地全体を使えるようになる。</li> <li>・アップダウンの多い朝霞市なので、将来、高齢者にも優しい交通網がほしい。</li> <li>・いろいろな行事が行える公園が身近にあってほしい。</li> <li>・公園に日陰、防風等の機能が備わり、住民の居住性が向上する。</li> <li>・他市と比較して、より多くの公園があることが望ましい。</li> </ul>	
			少子高齢化社会に向けた行政と市民との協働体制の確立		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意見を取り入れた公園を造れば、開設後もいっそうの市民協力が得られると思う。</li> <li>・樹木を計画的に植える。（樹木の成長には、長い年月を要するので）</li> <li>・公園の利用が少ない今、汚れや老朽化が見てとれるので、少しでも綺麗に保つようにするべき。</li> <li>・今回の懇談会のような市民の意見を反映させることが出来る条例等があった方がよいのでは。</li> <li>・国有財産である基地跡地等、国から無償で返却してもらえるように、行政・市民が協力していく。</li> </ul>	
	4	住宅・建築	街並に統一性のあるまち		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い家が一新され新建築の使い勝手のよいものになっている</li> <li>・街並が整理され子どもの数が多いまち</li> <li>・箱のようにきれいに整備されたまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の高さを揃える</li> <li>・景観計画による政策</li> <li>・景観づくり団体の活用</li> <li>・市・市民・事業者の3者による共通のビジョン</li> </ul>
			自然環境にやさしい住宅の多いまち		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全地域が水洗になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の緑化</li> <li>・雨水利用の住宅</li> <li>・雨水住宅の優遇</li> <li>・規制よりも優遇による政策指導</li> <li>・Co2削減効果として緑化の優遇</li> </ul>
安心、安全なまち				<ul style="list-style-type: none"> <li>・車、人の分離された道路になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理を進める</li> <li>・空き家を居場所として市民に活用させる</li> <li>・商店街をイベントの場にする等、商店街を広く市民に活用する</li> <li>・祭りに広場を活用する</li> <li>・県道にも市としての使用を提案し、県道・指導が使いやすくなるとよい</li> </ul>	
			未来像を実現するために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンをもつ</li> <li>・住民を含めて都市計画のアイデアをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例(官・民・事業者)</li> <li>・開発をからめると利益誘導といわれるので、やりたがらないが、そういった問題解決のために話し合いをオープンにする。</li> </ul>	

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	5	上水道	おいしい水が飲める		・どんな場合でも飲める。	
			よりおいしい水を供給する		・ボトル水から転換し、水道から直接飲用が進む。	
			よりおいしい水を供給する 継続的に供給される			・災害・停電等への対策・備え
			市民の課題			・市民の満足度調査をする。
			災害		・災害対策が充分である。 ・リスクに対応できている。 ・停電が起きても断水しない。	
			料金・経営		・水道料金が市民に見えている。 ・たくさん水を使うユーザーを大切に。 ・40年後の人々を考えて経営する。	・スマートメーターにより検診等を効率化する。 ・料金の値上げをわかりやすく説明するべき。
			水道部としての取組	・耐震化率46%。 ・耐用年数を超えた水道管が20%ある。		
			PR	・広報の水道経営のページがわかりにくい。		・市民が安心して水道水を飲めるようPRする。

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	6	下水道	災害への備え・対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備え、十分な対策が講じられている</li> <li>・災害発生時に、迅速な対応・復旧を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の耐震化</li> <li>・各家庭の防災意識の向上を図る→災害時に下水道施設が利用できなくなる可能性もあるため、食料などの備蓄だけでなく、適切な下水処理が各家庭で行えるように備える</li> <li>・防災訓練の実施</li> <li>・雨水は総合治水による管理を行い、豪雨災害に備えるとともに、河川への負担を考慮する</li> <li>・国や県との協働</li> </ul>
			インフラの維持管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の適切な維持管理が行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の耐震化</li> <li>・下水道管の計画的な布設</li> <li>・既設下水道管の計画的な更新やメンテナンス</li> <li>・国や県との協働</li> </ul>
			下水道の普及率			<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道普及率の向上</li> <li>・浄化槽使用から、下水道管接続への転換促進</li> <li>・区域外地区への下水道管の布設・接続</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	7	都市計画・交通	人口規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口規模15万～18万人程度が良いのでは→15万人で良いのかどうかは意見が分かれるところ</li> <li>一方で、住みよいまちだからこそ人口が増えているのも事実</li> <li>人口増加が激しいとインフラ整備が追い付かない</li> <li>人口減少が進めばまちの活力低下も懸念される</li> </ul>		
			住環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の商業地域が広い→店舗ではなく高層マンションが立地する</li> <li>住環境が向上しないとまちの魅力が高まらない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高層マンションへの規制強化</li> </ul>
			コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まち」は地域の集合体→地域コミュニティを大切に</li> </ul>		
			より個性的なまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接市と比べた時に朝霞市を選んでもらえるまちづくり</li> </ul>	
			コミュニティ		<ul style="list-style-type: none"> <li>女性に住みやすい街づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティやゆとりある施設、建築物にする</li> <li>職場と住居が近接しているのがよいのでは</li> <li>地域に根づいた人を増やす（特に男性）</li> </ul>
			魅力あるまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>住環境を守る開発にする</li> <li>景観を考えた建築にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある店舗の誘致（活性化）</li> <li>優良企業の誘致</li> </ul>
			道路・交通		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりある道路網で外出しやすい街づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内交通網の見直し→利用しやすい交通</li> <li>バスの利便性を高める（車社会からの脱却）</li> </ul>
			空き家	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き部屋の有効活用→空き部屋・空き家を利用したいとの声も聞く</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家対策は必要（行政のバックアップ）</li> <li>学校の児童減に備えて複合施設にする</li> </ul>
			未来像の実現に向けて			<ul style="list-style-type: none"> <li>行政と住民による確たる協働を進める</li> <li>地域格差の解消→駅周辺と郊外など</li> <li>都市計画の大幅な見直しも一考</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
都市建設	8	公園	利用規制のない「みどり豊かな」広場・公園		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道と車道が明確に分かれ安全が確保されている</li> <li>・基地跡地がみどりの大公園になっている。</li> <li>・市内均等に身近な公園がある。</li> <li>・バッタ等の昆虫がいるみどりの広場。</li> <li>・市民協働による、利用規制がない子ども達が元気に活動する公園化。</li> </ul>	
			行政と市民との協働による公園管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基地跡地のみどりを大切に次世代に伝える。</li> <li>・公園の規制の見直し</li> <li>・地域住民とボランティア団体・住民との話し合い</li> <li>・子ども達の希望、アイデアの掘り起こし</li> <li>・学校の協力</li> <li>・行政、NPO法人の充実</li> <li>・基地跡地を散策できる森に無償取得して解放する。</li> <li>・黒目川の遊歩道に草が生い茂り、通り難いので草刈りをしてもらいたい</li> <li>・基地跡地の無償取得を穂坂代議士に取り組んでもらう</li> <li>・朝霞の森の利用率を高める一助としてトイレを設置する。</li> <li>・子ども達が自然を学ぶ環境の整備</li> <li>・空き家の土地を所有者に働きかけて子どもの遊び場にする固定資産税免除</li> </ul>	



分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
教育	9	生涯学習	施設の有効的な活用			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の予約方法や利用時間帯等、柔軟に対応してほしい</li> <li>施設の備品等貸出について柔軟に対応してほしい</li> <li>施設は午前・午後・夜間でなく、時間で貸出する。</li> <li>広い部屋は、臨機応変にパーティションで仕切るなどして貸出する。</li> </ul>
			学習機会や活動場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習活動のできる場所が不足している。</li> <li>生涯学習を担うべき市民の講座等、学習機会が少ない。</li> </ul>		
			活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民等が企画する講座の補助金がいづらい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動団体のPR等、公平な対応をしてほしい</li> </ul>
			中高生等の居場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高生の放課後の居場所が限られている</li> </ul>		
			時代に沿った学習機会の提供			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習テーマに対してスポット的ではなく、組織的な学習活動を行う。</li> <li>SDGs学習を取り上げていく。</li> </ul>
			生涯学習の担い手支援と活動団体への支援			<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに学びあい、教えあうような機会を提供する。</li> <li>パートナーシップカレッジの再開。</li> </ul>
			学習する場の整備・工夫			<ul style="list-style-type: none"> <li>市民センターを十分に活用する。</li> <li>空き家・空き室を学習場所として活用する。</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
教育	10	学校教育	総合計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小柱が抽象的すぎる。</li> <li>・市職員が目標を設定し、評価しているのはおかしい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を明確かつ具体的にすべきである。</li> <li>・評価は第三者がすべきである。</li> </ul>
			児童・生徒一人一人への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に相談室を設置していない。</li> <li>・さわやか相談員・サポート相談員の賃金が低い。</li> <li>・就学相談の回数が少ない。</li> <li>・通級教室が中学校にない。</li> <li>・小学校の通級教室が少ない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクールなどの居場所づくりが必要である。</li> <li>・少人数指導を充実する必要がある。</li> <li>・特別支援学級・特別支援学校と通常学級との交流が必要である。</li> <li>・国際交流・外国籍へのサポートが必要である。</li> </ul>
			朝霞独自の教育、地域人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団が機能していない。</li> <li>・地域人材が活用されていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・博学連携を進めていく。</li> </ul>
			教員の負担解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担が多い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が抱える課題を明らかにするべきである。</li> </ul>
			朝霞らしさ、独自の学校支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の子は朝霞で育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の文化、歴史を取り入れる。</li> <li>・姉妹都市を締結し交流する。</li> <li>・市独自の雇用や専門職を増員し、柔軟な働き方を進める。</li> <li>・子ども相談室の組織改編をする。</li> </ul>
			国や県への依頼			<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理学、倫理学を重視すべきである。</li> <li>・受験制度を改革する。</li> <li>・夜間中学を設置する。</li> </ul>
			地域人材の活用			<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代が学校を支援する。</li> <li>・クラブ活動指導を地域の人が行う。</li> <li>・通訳を確保する。</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
総務	11	行財政	市民へのPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政に対する市民の関心の低さ（行政への関心が低い市民が多い）。</li> <li>取組みの市民へのPR？（市の良い取組が市民に知られていない）。</li> <li>市民意識、アンケート e t c がどう反映されている？（知りたい市民は多い）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>春夏秋冬のイベントの参加率UPの対応策（もっと参加者を増やせる）。</li> </ul>
			協働・参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長や議会が協働や市民参加を推進しようとする意識が必ずしも強くない。</li> <li>協働を専門的に推進する部署がない（あってもそれが感じられない）。</li> <li>部署ごとに協働に関する考え方・方針が統一されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政と市民が協同して安全・安心な道路の確保をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働推進指針の見直し。</li> <li>協働参加推進の組織づくり。</li> <li>協働参加の場づくり。</li> </ul>
			財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税入ってくる方が出ている方より少ない。</li> <li>企業誘致の費用と税収のバランス（企業誘致はバランスへの配慮が重要）。</li> <li>経常収支比率が高まる中で、出来る事の優先順位を（つける必要がある）。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税を増やす施策？</li> </ul>
			総合計画のPDCA	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期のPDCA？（どのようなPDCAで進行管理が行われているのか）。</li> <li>分野別施策のT o t a l 管理？（予算、実行性 e t c ）分野別の施策でもその分野だけに留めず、分野を横断して推進していくことが求められる。</li> </ul>		
			公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館のように自由に出入りできない人がが多い（つまり施設が少ない）。</li> <li>公共施設が少なく行事ができない事が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園等を作りゆっくりとくつろげる場があればよい。</li> </ul>	
			その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通空白地がある（デマンド交通という形ではサービス提供がない）。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致の推進（法人市民税収や雇用を増やす）。</li> </ul>
			朝霞の魅力			

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
総務	12	防災	地方の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所に住んでいる人の顔が見えない</li> <li>・一番大事なのは、自助、自立だと思う</li> <li>・地域防災アドバイザーの存在を知らなかった</li> <li>・保育園（学校含む）での収容能力</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電線がいっぱいあって避難できない→地中化、統合化する</li> </ul>
			道路冠水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水管の対応（マックス50mm／1時間）</li> <li>・低い道路が冠水している</li> <li>・泉水の黒目川沿いの道路から避難するルートがない・避難場所までの総距離</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害は地形の高い所に地下貯水槽をつくり、一時的に流れを止める</li> </ul>
			防災情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災メールはとても良い</li> <li>・防災ラジオを持っていてとても良い→皆に広げたい</li> <li>・高いマンションの防災はどうなっているのか</li> </ul>		
			男女平等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加は認知症予防になる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等というのなら、今日の懇談会に女性を半分入れてほしい</li> </ul>
			将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、不満は今のところないが、状況により変化すると思われる</li> <li>・埼玉県、朝霞市大好き</li> </ul>		
			その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害のタイプが変わっている→対応できていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・詐欺、迷い人の対応をやってほしい</li> <li>・今の市の組織を「安全・安心」として、防災に限らない広い範囲にする（窓口一つ）</li> <li>・よろず相談窓口が欲しい</li> </ul>
			市民のつきあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市と仲良くなりしたい</li> <li>・市民が主役なので、市（行政）はサービス業。両者間の溝がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練をもっと身近なレベルでできるようになりたい</li> <li>・近所づきあいを多くする</li> <li>・レベル1の自助は各戸徹底的に知らせ常識にしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の区域（学区）と自治会・町内会の区割りを合わせられるようにする</li> <li>・マンションの総会に市が来てほしい</li> <li>・友達感覚で市職員と交流したい</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
総務	13	行財政	公共交通の整備	・デマンド・タクシーの運行の未実施。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共バスの充実。</li> <li>・循環バスの停留場所の増大。</li> <li>・高齢者に対する交通費補助の増額（他市との比較から）。</li> </ul>
			歩道橋の整備	・歩道が整備されていないところが多く危険。		
			福祉の充実			<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合福祉センターの体制の明確化。</li> <li>・福祉関係に携わる職員の給料の増額（人員不足）。</li> </ul>
			安定した財政運営			<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率の改善。</li> </ul>
			足しの情報収集と反映			<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市のリサーチによる参考的な取り組みを反映した施策の実施。</li> </ul>
			高齢者福祉の充実	・高齢者が住みやすいまち。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の最後が不安にならないためにも、福祉に財源を。</li> <li>・高齢者ボランティアを有効活用できる体制づくり。</li> </ul>	
			4市連携	・4市の公共施設が相互に安心して利用できる。		
			適正な財政運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の誘致やふるさと納税の拡大による歳入の増大。</li> <li>・RPAやAIを活用した業務の効率化による歳出の削減。</li> <li>・職員や議員の削減による歳出の削減。</li> <li>・国に対する防衛費削減への提言。</li> </ul>	

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
総務	14	防災	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報（発信）が遅いのでは・・・。</li> <li>・個人情報保護の関係で、手助けがいる人が分からない。</li> <li>・自助、共助、公助が理解されていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面が多いので土砂崩れ対策をして欲しい。</li> <li>・集中豪雨対策として、畑を駐車場にする場合、協力を得る。</li> <li>・地区が決まっているので集中豪雨対策を・・・。</li> <li>・地震の際の（建物）倒壊を予想して地域を把握して欲しい。</li> </ul>
			情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が心配だが、朝霞はどうか。過去の震度は。</li> <li>・防災倉庫の物資がわからない。</li> <li>・災害の種類による避難場所の情報はわかりにくい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東大震災のときの朝霞の被害状況はどうだったか知りたい。</li> <li>・水害防止の為にデルタ地域を市民の多くに知らしめる。</li> <li>・大きな分譲地やマンションの建設時に防災組織の組織化をお願いする（それによって防災組織を増やす）。</li> </ul>
			自助・共助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への知識が少ない。</li> <li>・若い人への防災教育が足りない。</li> <li>・防災訓練への参加が少ない。</li> <li>・町内会・自治会の組織率が低い。</li> <li>・自主防災が機能していない。</li> <li>・自分のこととして捉えていない。</li> <li>・避難場所に何があるのか分からない。</li> <li>・高齢者の居住状況がわからない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの防災組織化への協力。</li> </ul>
			公助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側溝に草や泥が溜まって流れない。</li> <li>・地震のときの火災が心配。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会館等の避難場所に通信手段（固定電話）を設ける。</li> </ul>
			その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫の商品を使いきれしていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市がすでに施した排水路の見直しを進める（現在50mm3/h）。</li> <li>・田島地域の盛土対策。</li> </ul>
			自助			<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会・自治会が当初の災害の共導役になる。</li> <li>・防災訓練を自分のこととして積極的に参加する。</li> <li>・大水害・大火災による避難・宿泊施設の明確化。</li> <li>・町内会の協力を得る（転入者に市役所からも積極的に加入を薦める）。</li> <li>・集中豪雨の時の対策、各住宅の雨水を収集マスや浸透？掃除？を考えてもらう。</li> </ul>
			公助（とはいえ内容は共助）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助を進めるため、声掛けを進める。</li> </ul>
			その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がガイドブックを理解し、運用できること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップを分かりやすく。</li> <li>・防災無線を有効に使う。</li> <li>・市民が行政と繋がりを密にする。</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
総務	15	行財政	まちの開発・計画的なまちづくり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職住近接を目指さないと（昼間の人の少なさを考えると）。</li> <li>・朝霞台、北朝霞、バリアフリーやホームドアの整備。</li> <li>・市政は東京への近隣都市として、住居整備都市として、整備する方向を望む。</li> <li>・オリンピック等イベント的な部分に焦点が当たり易いが、生活維持部門への投資が望まれる。</li> <li>・産業振興、企業誘致が必要である。</li> <li>・朝霞台駅、北朝霞駅の整備（特にトイレ）が求められる。</li> <li>・背伸びしないで生活安定のための行政が望まれる。</li> <li>・財政面から公共施設の整理、統合を進める。経費の安定化を図る。</li> <li>・扶助費は減らせないが他の事業にまわす予算が必要。</li> </ul>
			市民が誇りや愛着を感じられるシティ・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの情報届いてない人が多いのではないか？</li> <li>・朝霞らしさとはなんだろうか。</li> <li>・朝霞の魅力が少ない。アピールポイントがない。</li> </ul>		
			地域でのつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等、その他、多様性がみとめられていない。</li> <li>・自治体、町内会の役割、活動が不十分ではないか。</li> <li>・市民どうしのつながりがやすい。</li> </ul>		
	16	防災	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニケーションがとれていない</li> <li>・防災について市民で考えるには限界がある</li> <li>・朝霞市は都市化が進んでいる為、近所づきあいが年々難しくなっている。</li> <li>・町内会の加入率が低い。</li> <li>・火災に対する対応が十分とは言えない。</li> <li>・防災無線が聞こえづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政が赤字とならず、市民が安心して生活できる行財政</li> <li>・老人が活発に活動できるような施設や場（機会）</li> <li>・自然豊かに教育ができる都市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加のイベントをお祭りと一緒に</li> <li>・所得に応じた医療費制度</li> <li>・男女性別によらず着られる制服</li> <li>・子供・青少年が自由に学習できる場</li> <li>・水と緑のまち、空の広いまちあさをアピール</li> <li>・市民体際にパラリンピック種目を入れる（入っている）</li> <li>・賃貸住宅に住んでいる人、単身の人の相談機会</li> <li>・自治会・町内会を中心とした自治と市行政の連携</li> <li>・小さな会社をたくさん呼ぶ、起業促進</li> </ul>
			—		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所付き合いが大切</li> <li>・顔見知りから始まり、根気強く共助の輪を広げていくことが重要</li> <li>・防災に関する専門家の意見を聴く事が重要</li> <li>・防災無線のみならず、メール受信等が必要に応じ義務化すべき</li> </ul>	

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
市民環境	17	ごみ・環境	不法投棄	・粗大ごみや自転車、他のごみが黒目川や道路に放置		・ポイ捨ての処理 ・市民が自覚を持つ ・不法投棄者への厳罰化
			ごみに対する市民意識	・分別がいかげんのところがある ・集積所の管理が悪い		・3R運動に力を入れていく必要がある ・ごみの分別方法や3Rについて、もっと広報等の充実を図る
			今後のごみ処理場			・ごみ処理場の建設の必要性 ・市民の声の反映や情報提供を行う
			リサイクル製品への不安	・リサイクルされた製品が身体に安全なものか不安がある		・国、県、市の検査基準を徹底する



分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
市民環境	18	コミュニティ・産業振興	駅前・商店街	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を活用できていない。使っていない店舗を市民に貸してほしい。</li> <li>・井戸端会議をする場所がない。</li> <li>・駅前に男性物の衣服を買うところがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前でイベントが開催され、多くの人が集まっている。</li> <li>・駅前で必要な物が買い揃えることができる。</li> <li>・すべての電柱が地中化されている。</li> </ul>	
			自治会・町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の存在を知らない人が多くいる。</li> <li>・広報を町内会で配布しなくなったことで、町内会が衰退した。</li> <li>・バリアフリー化が進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入時に町内会の案内と加入届が行き届くようになっている。</li> <li>・高齢者が集う道の駅のような場所が設置されている。</li> <li>・町中のバリアフリーが進み、誰もが安心して出かけられる。</li> </ul>	
			祭り・イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどのイベントに誰もが参加できる体制になっていない。</li> <li>・住民参加が進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で行われるイベントに誰もが参加できるようになっている。</li> </ul>	
			自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が壊されつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞の森の自然がそのまま残され、災害時の市民生活の中心となっている。</li> </ul>	
			農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の不良品を活用できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物のリサイクルを商工会で手掛けている。</li> </ul>	

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
市民環境	19	ごみ・環境	自然	・水と緑が豊かである。(朝霞は、畑、田んぼ、緑や川が3本も流れており、豊かだが、マンションや住宅になっていく)		・今ある緑地の保全の推進をしていく
			ごみ	・ごみの分別(いろいろの材料が混在したり、汚れていたり、汚れていなかったり、出す日が違うなど、判断が難しい。) ・燃やすだけの処理方法はどうなのか。(燃やしてしまうと、焼却灰になってしまう) ・集積所の管理を適切に(ごみ当番や管理が、特定の人に偏らないように)		
			生き物	・多様(たぬき、アライグマなど)な生き物が多い		・駅前のムクドリ対策
			動物との共生		・子どもが、遊べる町	・ペットから、野良にならない方策(ペットなど飼っていた動物が、野良にならないような方策)
			ごみの減量・リサイクル		・ごみの適正な資源化(燃やして灰にするのではなく、資源を循環させる)	・地域で、集積所の管理
			豊かな自然		・自然が多く残っている朝霞(都心に近いのに、自然が豊かであるのはめずらしいので、残して欲しい)	

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
市民環境	20	コミュニティ・産業振興	自治会加入率の低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入世帯がなかなかコミュニティに入れない</li> <li>・コミュニティの必要性に欠ける</li> <li>・新規加入世帯が加入していない</li> </ul>		
			自治会役員のなり手不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会役員のなり手が少ない</li> <li>・町内会役員の負担が多い</li> </ul>		
			自治会の人員構成と意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の参加機会が少ない</li> <li>・世代間交流が少ない</li> </ul>		
			自治会の存在意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等の魅力がない</li> </ul>		
			商店の衰退	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元のお店が少ない</li> <li>・商店街が廃れていっている</li> <li>・子供を連れては入れるお店が少ない</li> </ul>		
			小規模起業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業所が地元で力を発揮する機会がないのではないか</li> </ul>		
			4大イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4大イベントの市民へのPRが少ない</li> </ul>		
			大規模企業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・活用が不十分</li> </ul>		

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
市民環境	20	コミュニティ・産業振興	活性化した町内会		・負担にならない町内会・自治会の組織づくり	・若い世帯の町内会への加入メリットを理解する ・マンション組織への自治会への加入を義務化
			多様なコミュニティの存在		・单身の方も気軽に来れる集いの場	・多文化共生社会に向けて多国籍の人の交流の場をつくる
			地元企業の活用			・地元の農業と飲食店のコラボ ・254バイパス周辺地区への企業誘致
			小規模起業家への場の提供			・若者・女性の起業支援 ・空き店舗を活用した販売スペースギャラリーの設置 ・個人事業者とスキルを求める
			イベント			・スポーツなどパブリックビューイングの開催
			朝霞市特性を生かす			・住居地域商業地域の区分の整理 ・朝霞有名ブランドを現状の2倍にする

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
市民環境	21	ごみ・環境	不法投棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の大量投棄がなくなる</li> <li>ホームレスが移動（引越）した後に大量のごみが残される</li> <li>放置自転車が多い</li> </ul>		
			廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルの使用量が増加している</li> <li>（中国に輸出が出来なくなったことによる）廃プラスチックの処理処分</li> </ul>		
			生物との共生			<ul style="list-style-type: none"> <li>野良猫へのエサやりを（市として）積極的に防止する</li> <li>（朝霞台駅周辺）ムクドリとの共生を図る</li> </ul>
			騒音	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから発生する（ことが予想される）航空機の騒音</li> </ul>		
			緑の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑（地）が住宅に移行していくことを防ぐ具体的な対策が必要</li> </ul>		
			クリーンセンター			<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンセンターの建替えに関する市民への情報提供</li> <li>クリーンセンターの建替え（事業）への市民の参加</li> </ul>
			プラスチック問題			<ul style="list-style-type: none"> <li>市が指導して、プラ（スチック）容器を作っている企業の商品は使用しない</li> </ul>
			緑の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が憩える緑地が増えると良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（緑のトラストを活用して）斜面林などの緑地を保全する</li> <li>黒目川沿いや内間木の農地を保全する</li> </ul>	
			要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアが活動しやすい環境・場所づくりを進める</li> <li>朝霞水門から内間木橋までの景観（隠れた景観資源）を良くしてほしい</li> <li>景観維持団体又は市民への支援策を検討してほしい</li> </ul>	

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
健康福祉	22	子育て支援・青少年育成	保育以前のケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後ケア不十分 内容、回数ともに</li> <li>一時保育の利用がしにくい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の中の家事支援がもっとほしい</li> <li>産後ケア NPOを活用してほしい</li> <li>産後ケアの回数を増やし、子どもと離れる時間が取れるように</li> <li>一時保育 乳児保育ができる園を増やす</li> <li>ファミリーサポート制度を使いやすくして、家事支援を受けられるように</li> </ul>
			中高生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高生の社会参加の機会が少ない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ほんちよう児童館を活用して、中高生向けプログラム強化を</li> </ul>
			専門機関の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健センターなど行政機関以外で相談する場所が少ない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼、保、小 連携をもっとしてほしい</li> <li>子どもの発達 個々の特性に合わせた支援をする場所がほしい</li> <li>子ども家庭総合支援拠点に専門職を置いてほしい</li> <li>子どもの特徴・情報・支援プランを確実に小学校につなぐシステムづくり</li> </ul>
			地域の子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地縁が少ない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO事業の告知を協力してほしい</li> <li>教育・福祉の横ぐしの支援計画を立ててほしい</li> <li>児童相談所、警察などとの連携（親を責めるのではなく支えるサポートを）</li> </ul>
			家庭の事情に合わせた支援			<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭ならではの大変さによりそう支援があるといい</li> <li>ひとり親家庭の交流の場や相談会の実施</li> </ul>
			放課後児童クラブ			<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブの長期休暇中の給食を使いやすくしてほしい</li> <li>放課後児童クラブの給食は利用回数による事後精算にしてほしい</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
健康福祉	23	高齢者支援 (1組)	住民の助け合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間の交流が希薄になってきている。</li> <li>・高齢者の体力低下等に伴い、買い物や日常生活でのゴミ出し、地域で回ってくるゴミ当番ができるかなど不安が生じる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民間の交流を深めるため、あいさつを積極的に行うなど、意識の醸成を図り地域の繋がりを深める施策が必要。</li> <li>・地域の中でご近所同士が見守りや買い物、ゴミ出し等の助け合いが進展するするような施策が必要。</li> <li>・地域活動等に参加しても馴染めない方や、そもそも地域包括等の相談先すら知らない方もいるため、そのような方々の掘り起こしや居場所づくりの施策が必要。</li> </ul>
			健康で元気に			<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な状態で自活していく努力が必要。</li> <li>・100歳まで、いつまでも健康でいられるため、健康意識の向上が図れるような情報提供や講習など、健康寿命を延ばす施策が必要。</li> </ul>
			市のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度の認知症の場合、ヘルパーの支援が受けづらくなっている。</li> <li>・市独自の福祉サービスは充実していると思う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の支援として、市としてゴミ出し支援等の施策があると良い。</li> </ul>
			市のハード整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自主的な行動や自立した生活を行うための、交通面の環境整備が十分ではない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自主的に行動し、自立した生活を長く送るため、デマンド交通などの整備が必要。</li> <li>・道路の狭さや段差等により外出がしづらく、歩道などの整備が必要。</li> </ul>
			施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ホーム等の費用が高い。</li> <li>・老人ホームを増やすにしても、人手不足による事故等が不安。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・質を維持したうえで、老人ホームを増やし、負担額の軽減をして欲しい。</li> </ul>
			地域の支え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生などへの認知症サポーター養成講座を上手くやっているの、認知症の高齢者を守る意識が根付き始めていると思う。</li> </ul>		

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
健康福祉	24	高齢者支援	高齢者の通いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者同士が気軽に通いの場が少ない</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）が少ない</li> <li>・年を取ると日常生活の買い物不便</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の集いの場をもっと増やしてほしい</li> <li>・高齢者が活かされる場所（仕事）を増やしてほしい</li> <li>・買い物を便利にするためインターネットショッピングの環境整備や操作方法をレクチャーしてほしい</li> </ul>
			高齢者と行政との関わり合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する援助が少ない</li> <li>・高齢者が増え各種サービスが低下している（お祝い金等）</li> <li>・高齢外国人への対策が不足している</li> <li>・安心して歩ける歩道が未整備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動への援助をもっと増やしてほしい</li> <li>・高齢者への各種サービスが低下しているため、もっと増やしてほしい</li> <li>・外国人も高齢化しており、行政サービスを充実してほしい</li> <li>・安心して歩ける歩道を整備してほしい</li> <li>・地域包括ケアシステムや地域包括支援センターの周知をもっとしてほしい</li> </ul>
			高齢者と住民との関わり合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所付き合いが少ない（希薄）</li> <li>・町内会や自治会への加入者が少ない</li> <li>・加齢と共に体力が低下し、ところどころ不自由になる</li> <li>・若者との交流機会が少ない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や自治会への加入者を増やしてほしい</li> <li>・若者との交流機会を増やしてほしい</li> </ul>
	25	障害者支援	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス利用件数の計画値と実績値があっていない。（実績値からすると目標が低すぎ）</li> <li>・障害者の一生をととした支援体制が不十分。</li> <li>・障害者個人にあわせたフォローが不十分。</li> <li>・障害者の実態が十分に把握されていない。（障害者手帳をもたず、うもれている人もいるのではないか）</li> <li>・障害者相談支援専門員が不足している。不足に対する対応が不十分。</li> <li>・相談支援専門員の質の向上への対応が不十分。</li> <li>・障害者の就労支援が不十分。（施設や人数）</li> <li>・朝霞市は坂が多いと言う課題に対する具体的な対応が不十分。</li> </ul>		<p>の満足度があがるために、①障害者が一生幸せな生活が確保されること、②障害者の権利擁護が確立されていることが必要。</p>



分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
健康福祉	26	地域福祉・社会保障	健康調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関心があるのに健診受診率が低い。原因調査。</li> <li>今は健康だからという理由で健診を受診しない人がいる。</li> </ul>		
			参加の機会が足りない	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策によって地域の区分がバラバラである。</li> <li>健康のためこのような機会を利用し徒歩で参加、人々の意見を聞いて能活をするようにしている。</li> <li>バスモがもう少し多く欲しい。現在は2,000円、以前は3,000円だった。</li> <li>一人住まいの高齢者が増加している</li> <li>民生委員になってもらえる人が少ない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者とこどもの交流を積極的にすること。</li> </ul>
			福祉に関するお金	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係は無償又は低額の補償が多い。</li> <li>社会保障制度は財政的に地方が運営することは難しい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市政は福祉が中心であるべき。</li> <li>福祉に携わる人の処遇改善が必要。</li> </ul>
			当事者の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日は、子育て関係、高齢者団体、各障がい者団体が参加しているか</li> <li>懇談会に障がい者団体などの当事者が参加できるよう周知されているのか</li> </ul>		
			健康管理			<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者へ健診結果フィードバックを実施、推進する。</li> <li>受診率の基準を国の基準とは別に市で定めるべき。</li> </ul>
			福祉の体制づくり			<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関係職員の給与を上げること</li> <li>地域自立支援センターはいろいろな障がい者の支援を含めること</li> <li>健康保険税を引き下げ</li> <li>民生委員等今後も重要な役割をもつものには、ある程度報酬を支給する。</li> <li>地方は地域情報収集に努め、国に要請する。</li> <li>施策において、できるだけ区分の統一を進めていく。</li> </ul>
			地域の交流			<ul style="list-style-type: none"> <li>世代を超えた交流の場を設けたらどうか。</li> <li>サークル、同好会に出かける足が必要（高齢者や足の不自由な人のための）</li> <li>友人を作り支えあう</li> </ul>
			社会保障の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用が不安定</li> <li>所得格差の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労、収入、住居の安定化</li> <li>健康の大切さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援とサポートの拡大</li> </ul>

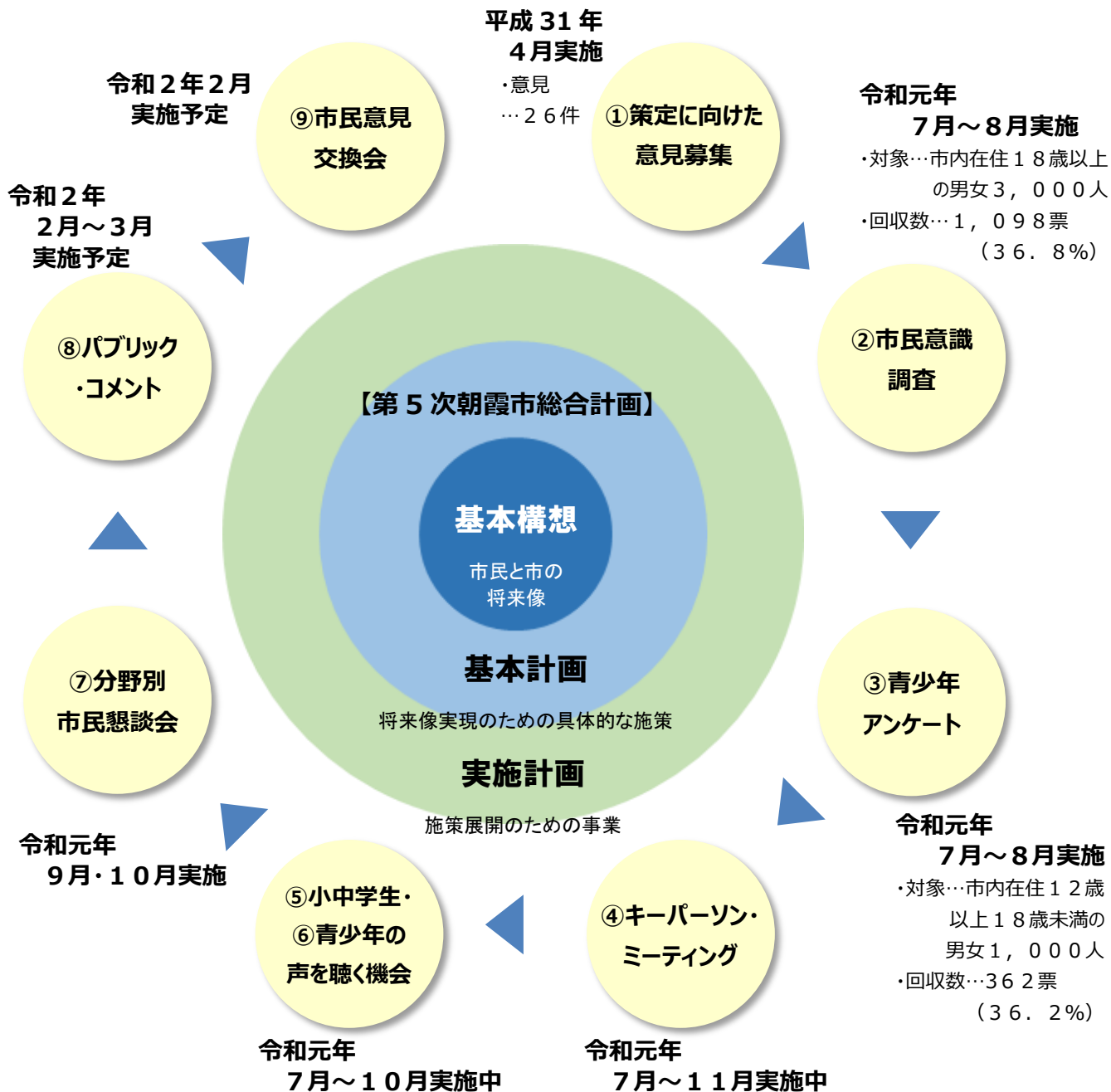
分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
健康福祉	27	保健・医療	病院に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関の職員の対応が親切でレベルも向上している</li> <li>救急体制が整っている</li> </ul>		
			検診	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診が、高齢だと受けにくい</li> </ul>		
			行政のつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括支援センターと市の担当職員連携がわかりにくい</li> <li>行政の横のつながりがよわいのではないか</li> </ul>		
			民生委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員の仕事がきつい、手当がわるい</li> <li>民生委員の数が足りていない</li> </ul>		
			高齢者施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者がひとりになった場合の連絡はどこへしたらよいか</li> <li>集合住宅と隣家との交流がない</li> </ul>		
			保険医療の資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険や医療の資料が冊子になっているが読み切れない</li> </ul>		
			介護保険と後期高齢者保険			<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険と後期高齢者保険の制度を統一したほうがよい</li> <li>介護保険と後期高齢者保険の制度を一本化して能率を良くし、経費を節約する</li> </ul>
			保険・医療の資料			<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の資料を簡単に</li> <li>市からの通知は簡単に</li> </ul>
			在宅医療			<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療の充実</li> <li>終末医療の体制がどうなっているか現状を広報してほしい</li> </ul>

分野	分野番号	ディスカッションテーマ	意見グループ	現状と課題	あるべき姿	施策の提案
懇談会の分野	番号	テーマ	懇談会での意見グループ	市の現状、または市の課題について述べている意見	市が今後あるべき姿、理想について述べている意見	取組や事業の提案について述べている意見
健康福祉	27	保健・医療	民生委員			・民生委員の待遇改善してほしい
			がん検診			・75歳以上のがん検診の受診を勧奨してほしい
			安心できるまち		・暮らしたづけたいまちの延長に、「安心して死んでゆけるまち」があってもよい	

◆市民参画による計画づくり

後期基本計画の施策を検討する際の資料とするほか、市の日常業務等の改善に生かしていきます。

【令和元年度の取り組み】



【問い合わせ】

朝霞市 市長公室 政策企画課 政策企画係  
電話 048-463-3089 (直通)